

# 取調べの可視化の導入を！

～ 足利事件再審無罪判決・リクルート事件から考える～

本年3月26日には「足利事件」において再審無罪判決が出され、改めて取調べのあり方が問われることとなります。また「リクルート事件」では、自白の任意性等が争われ、合計322回にのぼる公判の大半がそのために費やされました。裁判員裁判の運用を考えるうえでも非常に示唆に富む事例であると言えます。

そこで、「足利事件」の菅家利和氏と同弁護団、また「リクルート事件」の江副浩正氏をお迎えし、改めて取調べの可視化の必要性について考え、実現を訴えるための集会を開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

## 【プログラム（予定）】

### 第1部 足利事件判決を受けて

菅家 利和 氏・泉澤 章 弁護士（足利事件弁護団）

青木 孝之 氏（駿河台大学法科大学院教授）

### 第2部 これからの取調べ

「私が受けた取調べ、そしてあるべき制度～リクルート事件～」 江副 浩正 氏  
パネルディスカッション 青木 孝之 氏 ほか



参加無料  
(申込不要)

日時：2010年4月6日(火)午後6時～8時

場所：弁護士会館2階 講堂クレオBC

主催：日本弁護士連合会・東京弁護士会・第一東京弁護士会・第二東京弁護士会

**会場へのアクセス** 地下鉄丸の内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」(B1-b出口)から徒歩1分

【会場の御案内】 東京都千代田区霞が関1-1-3  
弁護士会館2階 講堂クレオBC

【お問い合わせ】 日本弁護士連合会 法制第2課  
電話：03(3580)9481 / FAX：03(3580)9920

